

こんなことができます!

クレジット審査業務の中の与信判定(可決・否決等)において、人の判断に頼らないシステム自動判定を導入することで、迅速かつ安定的な与信判定を実現させ、審査業務の省力化が図れます。

【従来の問題点】

与信判定を人の判断に頼っていると、経験やスキルの差から判定に揺らぎが生じ、本来は信用力が高い顧客を低いと判定し機会損失となったり、その逆の場合は、高リスクを見過ごし貸倒損失を招くことにもなる。

【解決したポイント】

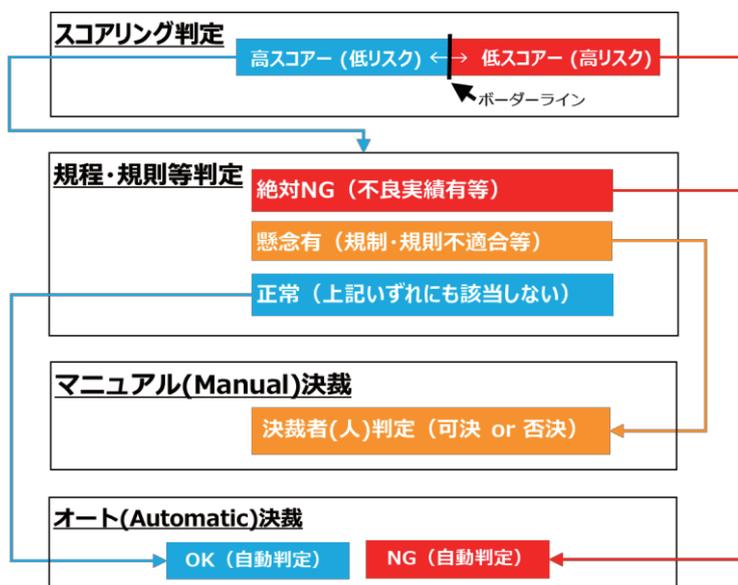
人の判断に頼っていた、最終的な与信判断を下すまでの工程をカットでき省力化が図れ、さらに経済情勢など環境変化に対応した与信コントロール(厳格化又は緩和)が臨機応変かつ確実に実行可能となった。

技術の概要

クレジット審査業務システムにおいて、「スコアリング判定」と「規程・規則等判定」の二つの与信判定システムを連携させ、OKとNGを自動判定する「オート(Automatic)決裁」と、それ以外の人判断する「マニュアル(Manual)決裁」を実装している。

スコアリング判定は、顧客属性情報、契約内容、信用情報などを基に、それぞれの評価項目について信用度を点数化する仕組み。規程・規則判定は、個社の規程・ルール、法令等の規制・規則等との整合性、社会通念などの要素を加味して、適否を判定するもの。

図・写真



発明者からのメッセージ

この仕組みを導入することで、申込件数の70%超をオート決裁で処理することができ、1件当たりの処理時間も最短3分と格段に早くなります。

ライセンス情報

- 1) 開放特許情報DB番号 /
- 2) 特許番号 / 特許第7578410号
- 3) 公開番号 / 特開2021-163391
- 4) 出願番号 / 特願2020-067209
- 5) 出願日 / 2020.4.3
- 6) 発明の名称 / 「与信判定システム及び与信判定方法」
- 7) 特許権者 / 株式会社トワライズ
- 8) 代表発明者 / 高田 裕文
- 9) 実施権許諾・譲渡種別

| | |
|-----|-----|
| ■許諾 | □譲渡 |
|-----|-----|
- 10) 共同開発・研究の意思

| | |
|----|----|
| □有 | ■無 |
|----|----|
- 11) サンプル提供の予定

| | |
|----|----|
| □有 | ■無 |
|----|----|
- 12) 技術指導の意思

| | |
|----|----|
| ■有 | □無 |
|----|----|
- 13) 実施実績

| | | | |
|----|-----|-----|----|
| ■有 | □試作 | □実験 | □無 |
|----|-----|-----|----|
- 14) 事業化実績

| | |
|----|----|
| ■有 | □無 |
|----|----|
- 15) 実施権許諾実績

| | |
|----|----|
| □有 | ■無 |
|----|----|

連絡先

- 1) 所属 / 公益財団法人鳥取県産業振興機構
- 2) 担当者名 / 経営支援部 知的所有権センター 特許流通担当
- 3) 電話番号 / 0857-52-6722
- 4) E-mail / chizai@toriton.or.jp